

平成 27 年度 亀岡市
子どもたちのより良い教育環境について考える
アンケート調査

集計結果

目 次

I. 調査実施概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査期間	1
3. 調査設計・調査方法	1
4. 調査項目	1
5. 回収結果	2
6. 報告書記載事項について	1
II. 回答者の属性	3
III. 調査結果	4
1. 小学校区・中学校区について	4
1-1 小学校区と自治会区域の一致について	4
1-2 自宅から一番近い学校へ通学できないケースについて	5
1-3 通学区域の設定について	7
2. 学校規模及び配置の適正化の方法について	8
2-1 亀岡市にふさわしい学校規模や配置の適正化の方法について	8
2-2 児童数(生徒数)・学級数を適正化するための対応について	17
資 料	
資料1 調査票	
資料 1-1 調査票 (小学校)	18
資料 1-2 調査票 (中学校)	22

I. 調査実施概要

1. 調査目的

今後の「子どもたちのより良い教育環境づくり」を具体的に検討するための資料とすることを目的として実施した。

2. 調査期間

平成27年6月24日～平成27年7月6日

3. 調査設計・調査方法

表 1 調査対象者および調査方法

調査対象	小学校保護者	中学校保護者
	市内11校（2年生・5年生） 各校1クラス 市内7校（全校調査）	市内7校（2年生） 各校1クラス 市内1校（全校調査）
標本数	956人	267人
抽出方法	当該クラス全員	当該クラス全員
方法	学校を通じて配布・回収	学校を通じて配布・回収
督促状	無し	無し

4. 調査項目

表 2 調査項目

調査項目		小学校	中学校
① 属性	学校別の回収数	△※	△※
②小学校区・中学校区について	小学校区と自治会区域の一致について	問1	
	自宅から一番近い学校へ通学できないケースについて	問2	問1
	通学区域の設定について	問3	問2
③学校規模及び配置の適正化の方法について	亀岡市にふさわしい学校規模や配置の適正化の方法について	問4	問3
	児童数(生徒数)・学級数を適正化するための対応について	問5	問4

※△は、調査票回収時に把握

5. 回収結果

表 3 有効回答数および有効回収率

	標本数 (人)	有効回収数 (件)	有効回収率 (%)
小学校	956	611	63.9
中学校	267	156	58.4

6. 報告書記載事項について

- ・図表中の「N」は、各設問の集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出している。
- ・比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（副問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。
- ・比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。そのため、1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）でも、四捨五入の関係上各選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・設問文の問番号は、小学校調査の問番号を示しているため、中学校調査の問番号とは一致していない。

Ⅱ．回答者の属性

学校別の回収数

○小学校は、「本梅小学校」が最も多く9.5%、次いで「亀岡小学校」(8.8%)、「青野小学校」(7.7%)となっている。

○中学校は、「亀岡中学校」が最も多く18.6%、次いで「東輝中学校」(14.1%)となっている。

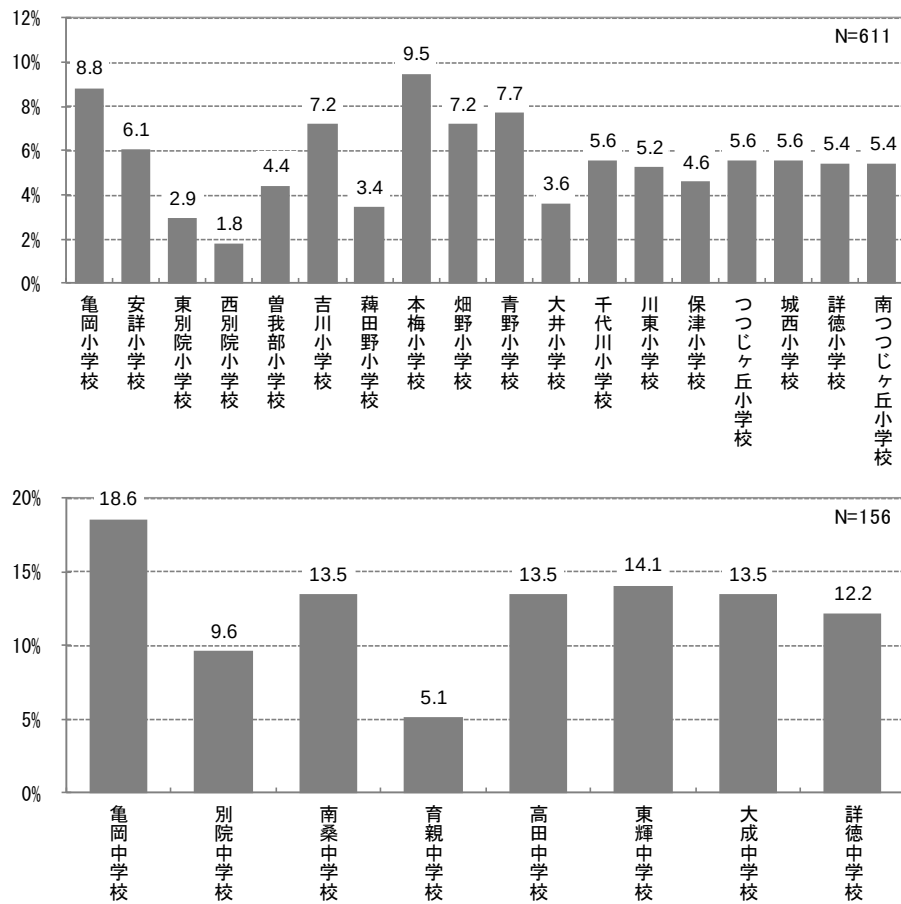


図 1 学校別の回収数

Ⅲ. 調査結果

1. 小学校区について

1-1 小学校区と自治会区域の一致について

＜小学校＞問1 亀岡市では、一部の地域を除いて、小学校区と自治会の区域が概ね一致しています。このことについてどのようにお考えでしょうか。

○小学校区と自治会区域との一致については、「小学校区と自治会区域は、可能であれば一致させる方がよい」が最も多く43.2%、次いで「小学校区と自治会区域は、一致させるべきである」(26.0%)となっている。

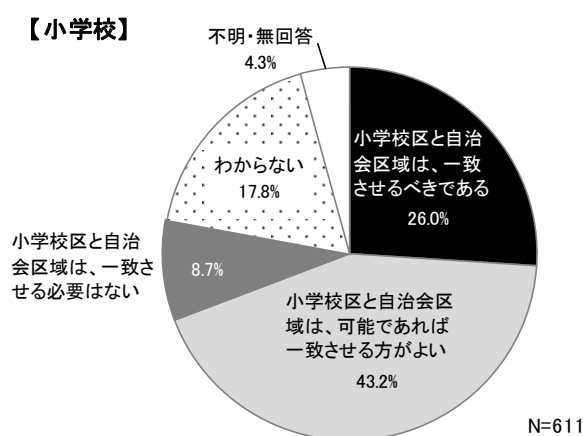


図 2 小学校区と自治会区域との一致に対する考え＜小学校調査＞

＜小学校＞（問1で「1」または「2」と答えた方のみ）

副問1-1 一致させる方が良いという理由は何でしょう。

○小学校区と自治会区域を一致させる方が良い理由は、「地域の行事や自治会活動に子どもが参加しやすいから」が最も多く65.5%、次いで「子どもの見守り活動等を自治会で取り組むため」(15.8%)となっている。

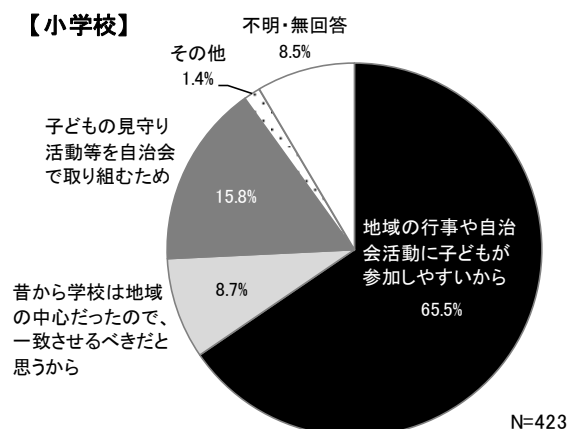


図 3 小学校区と自治会区域を一致させる方が良い理由＜小学校調査＞

＜小学校＞（問1で「3」と答えた方のみ）

副問1-2 一致させる必要がないという理由は何でしょう。

○小学校区と自治会区域を一致させる必要がない理由は、「子どもの教育を最優先させて学校区域は決めるべきだから」が最も多く54.7%、次いで、「学校区にとらわれずに、自由に地域の行事や自治会活動をしたら良いと思うから」（28.3%）となっている。

【小学校】

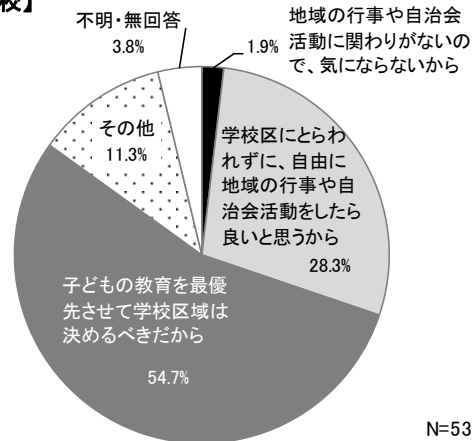


図 4 小学校区と自治会区域を一致させる必要がない理由＜小学校調査＞

1-2 自宅から一番近い学校へ通学できないケースについて

問2 亀岡市では、小学校区(中学校区)の設定により、自宅から一番近い小学校(中学校)へ通学できないケースがあります。このことについてどのようにお考えでしょうか。

- 自宅から一番近い学校へ通学できないケースについての考えは、小学校では、「一番近い学校へ通学できるようにすべきだ」が最も多く64.3%となっている。
- 中学校でも、「一番近い学校へ通学できるようにすべきだ」が最も多く58.3%となっている。

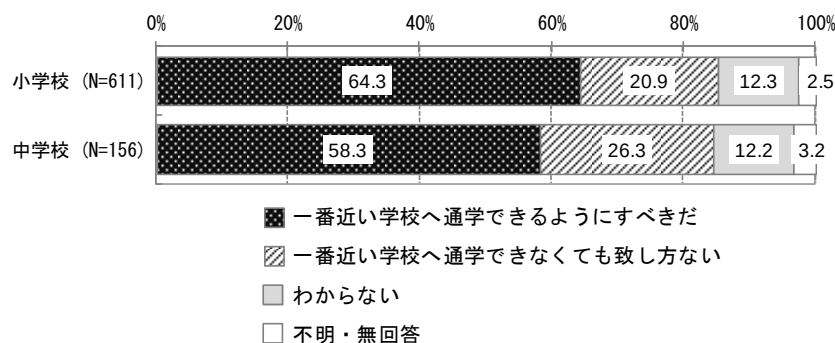


図 5 自宅から一番近い学校へ通学できないケースに対する考え

(問2で「1」と答えた方のみ)

副問2-1 一番近い学校へ通学させるべきという理由は何でしょう。

- 一番近い学校へ通学させるべき理由は、小学校では、「通学距離が長くなると、子どもの安全の問題があるから」が最も多く72.0%となっている。
- 中学校でも、「通学距離が長くなると、子どもの安全の問題があるから」が最も多く57.1%、次いで「子どもの学校と居住地域がばらばらでまとまりがなくなるから」(26.4%)となっている。

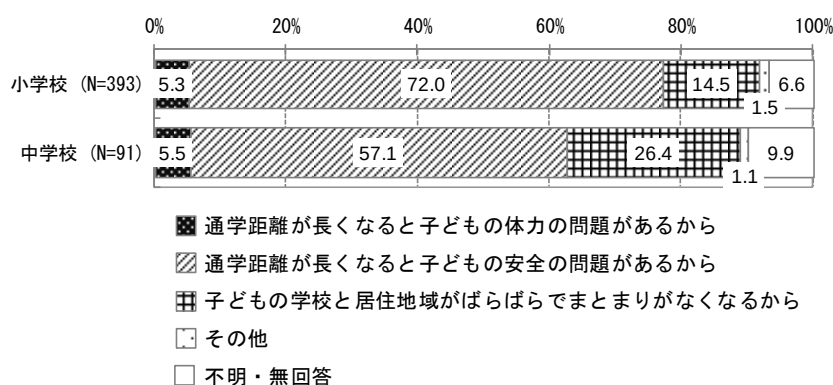


図 6 一番近い学校へ通学させるべき理由

(問2で「2」と答えた方のみ)

副問2-2 一番近い学校への通学でなくても良いという理由は何でしょう。

- 一番近い学校への通学でなくても良い理由は、小学校では、「町内の範囲など地域のつながりが重要だから」が最も多く50.8%、次いで「多少遠くても安全な通学路を通るほうがよいから」(28.1%)となっている。
- 中学校でも、「町内の範囲など地域のつながりが重要だから」が最も多く53.7%となっている。

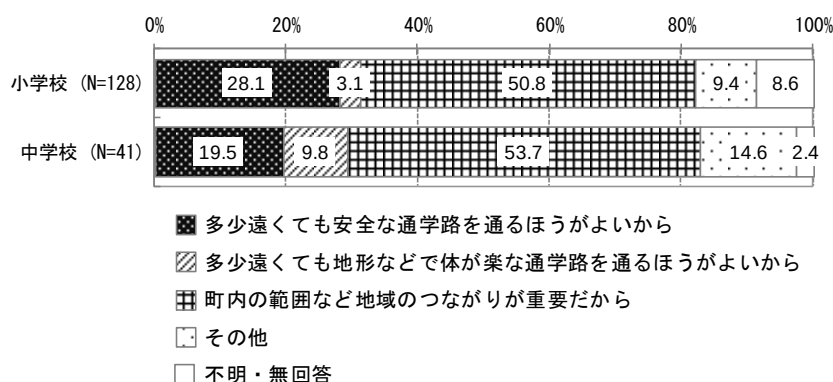


図 7 一番近い学校への通学でなくても良い理由

1-3 通学区域の設定について

問3 亀岡市では、現在、居住地から通学できる学校は1つだけです。通学区域は通学時間・通学距離や地域とのかかわりなどから決定していますが、通学区域の設定についてどのようにお考えでしょうか。

- 現在の通学区域の設定について、小学校では、「現在決められているとおりでよい」が最も多く48.8%、次いで「隣接する学校も選択できるようにする」(30.8%)となっている。
- 中学校でも、現在決められているとおりでよい」が最も多く51.3%、次いで「隣接する学校も選択できるようにする」(35.3%)となっている。

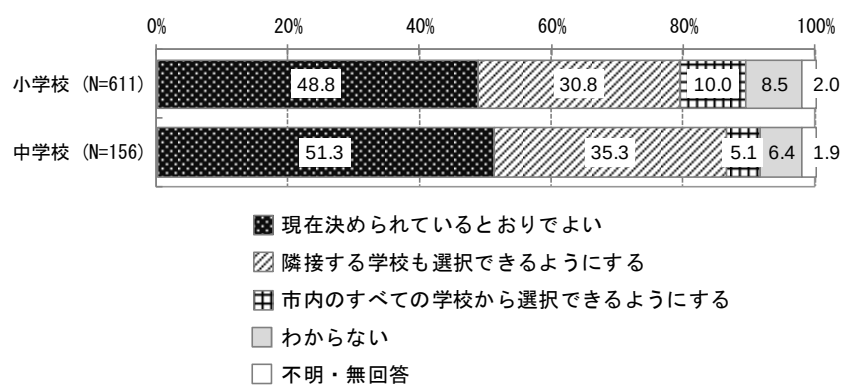


図 8 通学区域の設定についての考え

2. 学校規模及び配置の適正化の方法について

2-1 亀岡市にふさわしい学校規模や配置の適正化の方法について

問4 学校規模や配置の適正化の代表的な方法として下表のものが 있습니다。これらの方法は亀岡市の小学校(中学校)にふさわしいと思われますか。①～⑦の方法すべてについて、お答えください。

<学校規模・配置の適正化の方法>

対 象	項 目	概 要
小規模校 大規模校	①特認校制度	・小規模な学校を指定し、通学を希望する児童・生徒を通学区に関係なく、市内どこからでも転入学を認める
	②小中一貫校制度	・小中学校間の連携により、9年間の学習指導や生活指導の連続性を図った教育活動を行う
	③学校統廃合	・適正規模に満たない学校を対象に、近隣の対象学校同士、あるいは対象学校と近隣にある適正規模の学校との統合を行う
	④通学区の見直し	・小規模校や大規模校において、または指定校への通学距離が直近の学校から著しく遠い場合等に通学区の見直しを行う
	⑤通学区の弾力化	・一定条件を満たす場合に、校区外の学校への通学を認める
	⑥学校分離新設	・適正規模を超える学校を複数の学校に分離、新設する
	⑦学校の増改築	・生徒数の増加に伴い、既存の学校施設全体や特別教室等一部施設の増改築を行う

※『肯定』:「ふさわしい」+「どちらかといえばふさわしい」の合計

『否定』:「どちらかといえばふさわしくない」+「ふさわしくない」の合計

※『評価点』:「ふさわしい」を2点、「どちらかといえばふさわしい」を1点、「どちらかといえばふさわしくない」を-1点、「ふさわしくない」を-2点として、それぞれの回答数を乗じたものの合計を、「わからない」と「不明・無回答」を除く回答者数で除して求めたもの

○亀岡市の学校にふさわしい学校規模や配置の適正化の方法について、小学校では、《④通学区の見直し》が最も『肯定』意見が多く64.0%、次いで《⑦学校の増改築》(55.0%)となっている。また、『評価点』では、《④通学区の見直し》が最も高く1.18、次いで《⑤通学区の弾力化》(0.80)となっている。

○中学校では、《④通学区の見直し》が最も『肯定』意見が多く67.3%、次いで《⑦学校の増改築》(59.6%)となっている。また、『評価点』では、《④通学区の見直し》が最も高く0.93、次いで《⑤通学区の弾力化》(0.76)となっている。

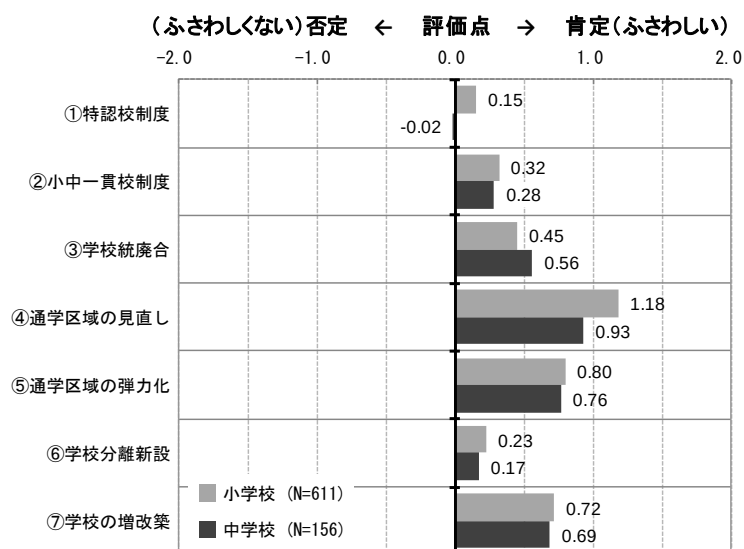
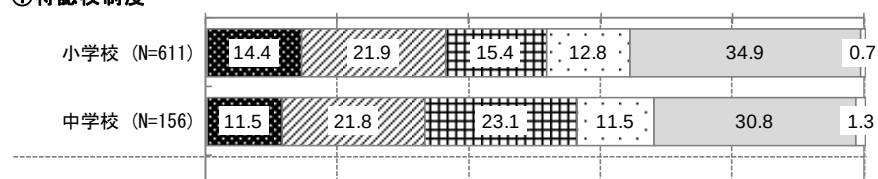


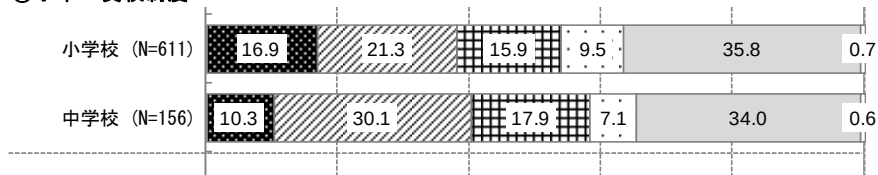
図 9 亀岡市の学校にふさわしい学校規模や配置の適正化の方法<評価点>

①特認校制度



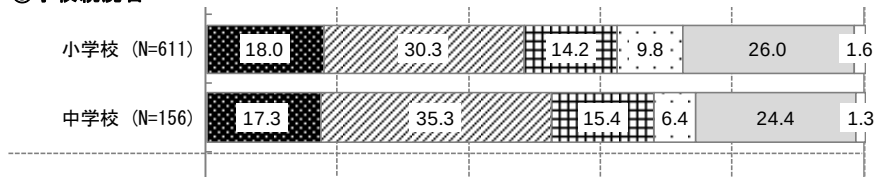
『肯定』	『否定』	評価点
36.3%	28.2%	0.15
33.3%	34.6%	-0.02

②小中一貫校制度



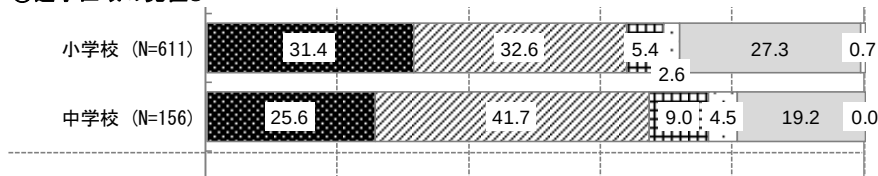
『肯定』	『否定』	評価点
38.1%	25.4%	0.32
40.4%	25.0%	0.28

③学校統廃合



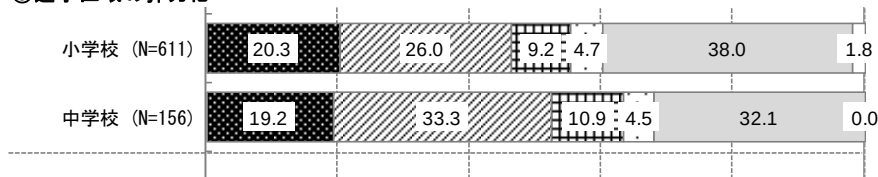
『肯定』	『否定』	評価点
48.3%	24.1%	0.45
52.6%	21.8%	0.56

④通学区域の見直し



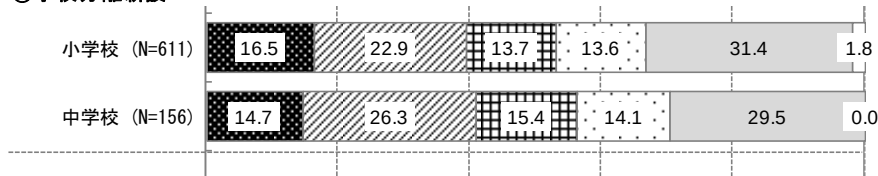
『肯定』	『否定』	評価点
64.0%	8.0%	1.18
67.3%	13.5%	0.93

⑤通学区域の弾力化



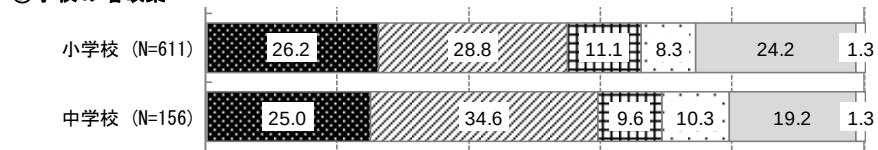
『肯定』	『否定』	評価点
46.3%	13.9%	0.80
52.6%	15.4%	0.76

⑥学校分離新設



『肯定』	『否定』	評価点
39.4%	27.3%	0.23
41.0%	29.5%	0.17

⑦学校の増改築



『肯定』	『否定』	評価点
55.0%	19.5%	0.72
59.6%	19.9%	0.69

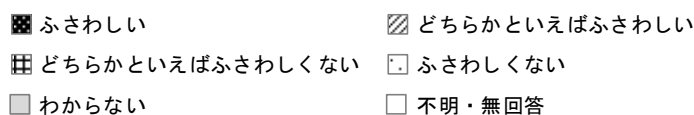


図 10 亀岡市の学校にふさわしい学校規模や配置の適正化の方法

○具体的理由については、下表のとおりである。(具体的記述は、資料2参照)

表 4 ①特認校制度について

理由回答者数:160人(小学校:135人、中学校:25人)

①特認校制度 「ふさわしい」と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
小規模校の存続・活性化ができる	43	34	9
行きたい学校に行けるようになる	30	27	3
子どもの特性・個性に応じた学校の方が良い	21	18	3
いじめや不登校などの受け皿となる	20	16	4
選択肢がある方が良い	19	16	3
小規模校・大規模校の人数差の是正ができる	12	9	3
学校ごとの特色を出せる	7	5	2
小規模校の良さを享受できる	5	5	0
子ども・保護者が教師を選択できる	4	3	1
学力のレベルアップにつながる	4	3	1
部活動の成績・種類等によって選べるのが良い	2	0	2
校内の荒れがあった場合に学校が選べるのが良い	1	0	1
ただし、登下校の心配がある	6	5	1
ただし、近隣の友人や地域の人との関わりも大切	3	3	0
ただし、都合良くメリットだけを利用するのは良くない	2	2	0

理由回答者数:127人(小学校:100人、中学校:27人)

①特認校制度 「ふさわしくない」と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
通学の安全性・利便性に問題がある	26	20	6
地域との関わりが薄れる	22	19	3
人気の有無で、今以上に人数の偏りが出る	21	16	5
亀岡市、公立校に必要な性を感じない	15	8	7
様々な問題が起こり、収集がつかなくなる	11	8	3
近隣の友人関係が築きにくくなる	7	7	0
一定のルールはあるべき	7	5	2
地域にある近くの学校に通う方が良い	6	4	2
現状で良い、必要性がない	5	5	0
学校の友だちの範囲が広くなりすぎる	5	4	1
選択の基準がわからない	4	4	0
親の負担が大きくなる	3	3	0
過剰な競争が起こる可能性がある	2	2	0
保護者の考えで学校を選ぶのは良くない	2	2	0
他の方法の方が適切	1	1	0
学力に差が出る	1	1	0
転出入が多いと授業や行事が進みにくい	1	1	0
ただし、小規模校の良さが享受できるのは良い	2	0	2

理由回答者数:37人(小学校:33人、中学校:4人)

①特認校制度 「わからない」と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
規模の適正化ができるのか疑問	7	6	1
メリット・デメリットがわからない	7	5	2
通学の安全性・利便性に問題がある	4	4	0
転入学を希望する理由による	4	4	0
メリットとデメリットがある	4	4	0
人・家庭ごとの考えがあるので	4	4	0
地元の学校という意識も必要	3	3	0
学校に特色がなければ意味がない	3	2	1
近隣校に限るべき	2	2	0
小規模校に限る必要はない	2	2	0
全員の希望が叶うわけではない	2	2	0

表 5 ②小中一貫校制度について

理由回答者数:137人(小学校:113人、中学校:24人)

②小中一貫校制度 「ふさわしい」 と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
学力のレベルアップにつながる	20	18	2
中学進学に対する不安が和らぐ	18	15	3
小規模校の存続・活性化ができる	17	14	3
児童・生徒の指導がしやすくなる	17	14	3
多世代交流ができる	13	10	3
子どもの数が少なくなっているから	12	9	3
義務教育期間を統一して教育できる	10	6	4
選択肢がある方がよい	7	6	1
保護者の負担が軽くなる	5	4	1
時代のニーズに合っている	5	4	1
現状も小中一貫校のようなもの	5	4	1
すでに小中一貫校がある	4	4	0
学校ごとの特色を出せる	3	3	0
人間関係が良くなる・深まる	3	3	0
施設・設備等の経費削減になる	3	2	1
通学しやすくなる	2	2	0
別々である必要性がない	2	2	0
自分が小中一貫校に通った経験があり良かった	1	1	0
地域のつながりが強くなる	1	1	0
ただし、人間関係に変化がない	2	1	1
ただし、名ばかりでなく徹底した制度とすべき	1	1	0

理由回答者数:124人(小学校:101人、中学校:23人)

②小中一貫校制度 「ふさわしくない」 と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
メリットがない・わからない	16	14	2
小学校と中学校では、教育の方法・内容が異なる	16	13	3
年齢層が広くなりすぎて、行事・遊び等がやりにくい	15	11	4
多様な人間関係が持てない	14	13	1
メリハリがない、環境に変化がない	14	12	2
現状で良い、必要性がない	11	8	3
いじめ等があった場合に逃げ場がない	9	7	2
一校の人数が多くなりすぎる	8	6	2
小学校卒業時の心の成長が妨げられる	7	6	1
小中一貫ではなく、中高一貫の方が適切	5	5	0
学区が決まっていると特定の人しか通えない	3	3	0
学力が低下する・向上しない	3	3	0
施設の新設・増改築に経費が掛かる	3	3	0
小学校と中学校の連携がとれていれば十分	3	2	1
荒れた学校の場合、それが続いてしまう	3	2	1
人気の有無で、今以上に人数の偏りが出る	3	1	2
教員の指導力・考え方に不安がある	2	2	0
人数が多くなると先生の目が行き届きにくくなる	2	2	0
いじめが増長しそう	2	2	0
1、2校あれば十分	2	2	0
市内で制度が分かれているのは複雑すぎる	2	1	1
中学受験をする人もいる	1	1	0
PTA等がややこしそう	1	1	0
地域との関わりが薄れる	1	0	1

理由回答者数:63人(小学校:53人、中学校:10人)

②小中一貫校制度 「わからない」 と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
メリット・デメリットがわからない	34	28	6
メリットとデメリットがある	9	7	2
出来る学校と出来ない学校がある	4	4	0
現状の問題点・必要性がわからない	4	3	1
転出入の扱いがどうなるのか	3	3	0
教員のレベルによる	3	2	1
一貫校に限らず小学校と中学校の連携が大事	2	2	0
教員が変われば一貫でも関係ないのではないか	2	2	0
市としての方向性を明確にすべき	2	2	0
人・家庭ごとの考えがあるので	2	2	0
入学に受験が必要であればふさわしくない	1	1	0
長期的な視点で検証・検討すべき	1	0	1
どちらでも良い	1	0	1

表 6 ③学校統廃合について

理由回答者数:198人(小学校:162人、中学校:36人)

③学校統廃合 「ふさわしい」と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
少人数では困難な授業や行事がある	40	31	9
少人数では社会性が育ちにくい	33	27	6
子どもの数が減ってきているので当然	22	17	5
小規模校と大規模校の人数差・教育差等の是正ができる	30	24	6
人数が少なくなれば、仕方がない、やむを得ない	26	23	3
少人数では学力・競争心が向上しにくいから	21	16	5
少人数すぎるのは良くないから	16	13	3
経費削減・効率化が図れるから	12	10	2
時代のニーズに合っている	9	9	0
小規模校は保護者の負担が大きいため	4	4	0
通学しやすくなるから	2	2	0
教員数が充実するから	2	2	0
統合すれば、将来的な廃校の危機が低い	2	2	0
大規模校では一人ひとりに目が行き届かないから	2	1	1
選択肢がある方がよい	1	1	0
小学校も中学校区域と同じ方がよい	1	1	0
ブロック分けして統合するのがよい	1	1	0
ただし、通学時の安全性確保が必要	10	9	1
ただし、災害時の避難場所の確保が必要	1	1	0
ただし、子どもや親の意見をしっかり聞くべき	1	0	1

理由回答者数:109人(小学校:93人、中学校:16人)

③学校統廃合 「ふさわしくない」と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
通学の安全性・利便性に問題がある	58	48	10
地域に一つは学校がある方がよい、地域の活気がなくなる	14	13	1
現状でよい、必要性がない	12	11	1
小規模校のメリットがなくなる	10	8	2
地域の特性が失われる	9	8	1
長期的な視点で検証・検討すべき	4	4	0
教育環境が変わるのは負担が大きい	3	3	0
保護者の負担が大きくなる	2	2	0
人数が多くなると先生の目が行き届きにくくなる	2	2	0
母校、伝統のある学校がなくなるのは寂しい	2	1	1
荒れた学校とは一緒になりたくない	1	1	0
亀岡市には有効な手段ではない	1	1	0
選択できるようにすればよい	1	1	0
人数が多くなるといじめが起きやすい	1	1	0
ただし、人数が少ないので仕方がない	3	3	0
ただし、小中一貫校のためならよい	1	1	0

理由回答者数:40人(小学校:33人、中学校:7人)

③学校統廃合 「わからない」と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
メリットとデメリットがある	14	13	1
現状の問題点・必要性がわからない	7	5	2
人数が少なくなれば、仕方がない、やむを得ない	7	4	3
通学の安全性・利便性に問題が生じる	6	4	2
対象となる人の意見次第	5	4	1
学区の設定が難しい	2	2	0
廃校になるのは寂しい	2	2	0
人数に変動があるのは仕方がないこと	1	1	0
統合相手の学校の状況による	1	1	0
できるだけ現状のままがよい	1	1	0
大規模校を小規模にすることは必要	1	1	0

表 7 ④通学区域の見直しについて

理由回答者数:253人(小学校:208人、中学校:45人)

④通学区域の見直し 「ふさわしい」と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
安全面から近い学校が良い	69	58	11
小規模校・大規模校の人数差を是正すべき	55	47	8
自宅の最寄り校に通う方が適切	40	34	6
通学時間・距離が短い方が良い	28	18	10
選択肢がある方が良い	17	16	1
体力面から近い学校が良い	16	14	2
時代のニーズに合っている	16	12	4
多人数すぎるのは良くない	15	14	1
少人数すぎるのは良くない	6	6	0
スクールバスの導入を検討すべき	4	3	1
悪い点は改善していくべき	4	2	2
適正化のために仕方がない、やむを得ない	3	3	0
保護者の負担が軽くなる	3	3	0
小学校と中学校は同じ区域の方が良い	3	1	2
最もやりやすい適正化の方法	2	1	1
子どもが過ごしやすければ良い	1	1	0
統廃合と同時に進めるのが望ましい	1	1	0
ただし、一定の条件を満たす場合のみ	5	5	0
ただし、長期的な視点で検証・検討すべき	1	1	0

理由回答者数:27人(小学校:16人、中学校:11人)

④通学区域の見直し 「ふさわしくない」と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
現状で良い、必要性がない	9	6	3
通学の安全性・利便性に問題がある	7	5	2
地域の特性が失われる	3	3	0
近隣の友人関係が崩れる	3	1	2
小規模校・大規模校それぞれにメリットがある	1	1	0
希望通りにならない場合、不公平感が出る	1	1	0
地域に一つは学校がある方が良い	1	0	1
ただし、地域住民との十分な話し合いが必要	1	1	0
ただし、最寄りの学校に行けるようにする	4	1	3

理由回答者数:23人(小学校:22人、中学校:1人)

④通学区域の見直し 「わからない」と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
現状の問題点・必要性がわからない	9	8	1
必要という声があればすれば良い	5	5	0
メリットとデメリットがある	3	3	0
人・家庭ごとの考えがあるので	2	2	0
長期的な視点で検証・検討すべき	1	1	0
自由に選択できるようにするのは良くない	1	1	0
自転車通学可の範囲を見直すべき	1	1	0
新興住宅区域は良い	1	1	0
人数の偏りが出なければ良い	1	1	0

表 8 ⑤通学区の弾力化について

理由回答者数:147人(小学校:122人、中学校:25人)

⑤通学区の弾力化 「ふさわしい」 と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
いじめや不登校などの受け皿となる	25	20	5
選択肢がある方がよい	24	20	4
各家庭の事情に対応できる方がよい	23	20	3
子どもの希望を叶えるべき	12	10	2
自宅の最寄り校に通う方が適切	11	10	1
子どもの特性・個性に応じた学校の方がよい	10	7	3
小規模校・大規模校の人数差の是正をすべき	10	7	3
子どものためになるように考えるべき	6	5	1
学力のレベルによって選べるとよい	5	5	0
地域ごとの実情に応じて考えるべき	5	5	0
部活動の成績・種類等によって選べるとよい	5	1	4
適正化のために仕方がない、やむを得ない	1	1	0
校風があう学校に行く方がよい	3	2	1
悪い点は改善していくべき	2	2	0
ただし、どのような条件を設定するかによる	26	21	5

理由回答者数:48人(小学校:36人、中学校:12人)

⑤通学区の弾力化 「ふさわしくない」 と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
現状でよい、必要性がない	9	7	2
一定条件の内容が不明	7	4	3
特例をつくるのは良くない	5	5	0
地域との関わりが薄れる	4	4	0
人気の有無で、今以上に人数の偏りが出る	4	4	0
公立校には弾力化は不要	4	4	0
通学距離・時間が増えるのは良くない	3	2	1
保護者の負担が増す	2	2	0
他の方法の方が適切	2	1	1
近隣の友人関係が崩れる	2	0	2
条件なしに弾力化とすべき	1	1	0
スポーツが強い等の偏りが出てしまい、市の大会等に意味がなくなる	1	1	0
教員の負担が増す	1	1	0
小規模校の人数がますます減る	1	0	1
学力差が出る可能性がある	1	0	1
希望通りにならない場合不公平感が出る	1	0	1
ただし、一定条件の内容による	2	2	0
ただし、最寄りの学校に行けるようにする	1	0	1

理由回答者数:48人(小学校:39人、中学校:9人)

⑤通学区の弾力化 「わからない」 と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
一定条件の内容がわからない	34	28	6
人・家庭ごとの考えがあるので	4	4	0
現状の問題点・必要性がわからない	3	1	2
地域性も重視すべき	2	2	0
校区は決まっている方がよい	2	2	0
必要という声があればすればよい	1	1	0
他の方法の方が適切ではないか	1	1	0
選択するだけの特色があるのか	1	1	0
安全性を第一に考えるべき	1	0	1

表 9 ⑥学校分離新設について

理由回答者数:134人(小学校:113人、中学校:21人)

⑥学校分離新設 「ふさわしい」 と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
大規模校では一人ひとりに目が行き届かない	32	28	4
多人数すぎるのは良くない	26	22	4
大規模校ではきめ細かい教育が出来ない	21	17	4
小規模校・大規模校の人数差の是正をすべき	20	15	5
人数が多いと施設が手狭になる	12	11	1
地域ごとの実情に応じて考えるべき	8	7	1
人数が多いと教員の負担が大きい	5	5	0
通学時間・距離が短い方が良い	5	5	0
適正化のために仕方がない、やむを得ない	3	1	2
人数が多いと子どもにゆとりがなくなる	2	2	0
大規模校では保護者が他人事になりがち	1	1	0
子どものためになるように考えるべき	1	1	0
耐震性の面から新設すべき	1	1	0
小規模校は保護者の負担が大きい	1	0	1
過去にも新設した例がある	1	0	1
ただし、新設は不要	10	10	0
ただし、長期的な視点で検証・検討すべき	8	8	0

理由回答者数:108人(小学校:85人、中学校:23人)

⑥学校分離新設 「ふさわしくない」 と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
現状で良い、必要性がない	52	42	10
他の方法の方が適切	26	22	4
経費が掛かる、税金の無駄遣い	21	13	8
長期的な視点で検証・検討すべき	18	13	5
地域の特性が失われる	3	2	1
亀岡市では無理がある	3	2	1
教育環境が変わるのは負担が大きい	2	2	0
その経費で既存校の設備等を充実してほしい	2	2	0
今以上に少人数クラスになるのは良くない	2	1	1

理由回答者数:21人(小学校:16人、中学校:5人)

⑥学校分離新設 「わからない」 と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
現状の問題点・必要性がわからない	9	8	1
長期的な視点で検証・検討すべき	6	5	1
他の方法の方が適切ではないか	3	3	0
適正規模がわからない	3	1	2
メリット・デメリットがわからない	1	1	0
メリットとデメリットがある	1	0	1

表 10 ⑦学校の増改築について

理由回答者数:187人(小学校:151人、中学校:36人)

⑦学校の増改築 「ふさわしい」 と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
人数に応じた広さの空間を確保すべき	47	40	7
必要であれば、行うべき	40	32	8
学びやすい環境を整えることが必要	20	15	5
人数が多くなれば、仕方がない、やむを得ない	16	11	5
少人数制の学級編成にすべき	13	12	1
新設より経費が掛からない	13	8	5
耐震性・安全性の面から増改築すべき	11	11	0
現段階で教室が不足している	5	5	0
分離新設よりも子どもの負担が少ない	4	3	1
古い建物より新しい方が良い	3	3	0
給食施設・トイレなどを増改築してほしい	3	1	2
同学年の教室は近くに配置した方が良い	1	1	0
最良の方法である	1	1	0
大規模校のままでメリットが多くある	1	1	0
各校に支援学級を設けることが望ましい	1	1	0
ただし、他の方法で対応できないなら	9	7	2
ただし、長期的な視点で検証・検討すべき	7	6	1
ただし、使用頻度に応じて仮設が良い	3	1	2
ただし、耐震・衛生面からは不要	1	1	0
ただし、仮設は良くない	1	1	0
ただし、増築は不要	1	0	1

理由回答者数:70人(小学校:57人、中学校:13人)

⑦学校の増改築 「ふさわしくない」 と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
他の方法の方が適切	24	18	6
長期的な視点で検証・検討すべき	18	14	4
現状で良い、必要性がない	16	13	3
経費が掛かる、税金の無駄遣い	9	8	1
その経費でエアコン等の設備を充実してほしい	3	3	0
増改築より耐震性の面からの改修をするべき	3	2	1
グラウンドが狭くなる等の問題がある	2	2	0
増改築ではきちんとしたものにならない	2	2	0
教員の負担が増す	1	1	0
ただし、他に方法で対応できなければ仕方がない	2	2	0

理由回答者数:24人(小学校:24人、中学校:0人)

⑦学校の増改築 「わからない」 と思う理由	件数	うち 小学校	うち 中学校
現状の問題点・必要性がわからない	7	7	0
長期的な視点で検証・検討すべき	7	7	0
メリットとデメリットがある	3	3	0
増改築により、クラスを増やすならば良い	2	2	0
メリット・デメリットがわからない	2	2	0
他の方法で対応できなければ仕方がない	2	2	0
他の方法の方が適切ではないか	2	2	0
増改築より他(設備整備、教員増員等)に予算を使ってほしい	2	2	0
必要という声があればすれば良い	1	1	0

2-2 児童数(生徒数)・学級数を適正化するための対応について

問5 小規模校及び大規模校の児童数(生徒数)・学級数を適正化するための対応として、あなたのお考えに一番近いものを選んで下さい(1つ)

- 小規模校の児童数(生徒数)・学級数を適正化するための対応としては、小学校では、「まず学校区の見直しや弾力化を行い、それでも適正化が困難な場合は、隣接する学校と統合する」が最も多く48.1%となっている。
- 中学校でも、「まず学校区の見直しや弾力化を行い、それでも適正化が困難な場合は、隣接する学校と統合する」が最も多く52.6%となっている。
- 大規模校の児童数(生徒数)・学級数を適正化するための対応としては、小学校では、「まず学校区の見直しや弾力化を行い、それでも適正化が困難な場合は、現在の学校を増改築する」が最も多く30.1%、次いで、「まず学校区の見直しや弾力化を行い、それでも適正化が困難な場合は、分離新設校をつくる」(28.5%)となっている。
- 中学校でも、「まず学校区の見直しや弾力化を行い、それでも適正化が困難な場合は、現在の学校を増改築する」が最も多く34.6%、次いで、「まず学校区の見直しや弾力化を行い、それでも適正化が困難な場合は、分離新設校をつくる」(28.8%)となっている。

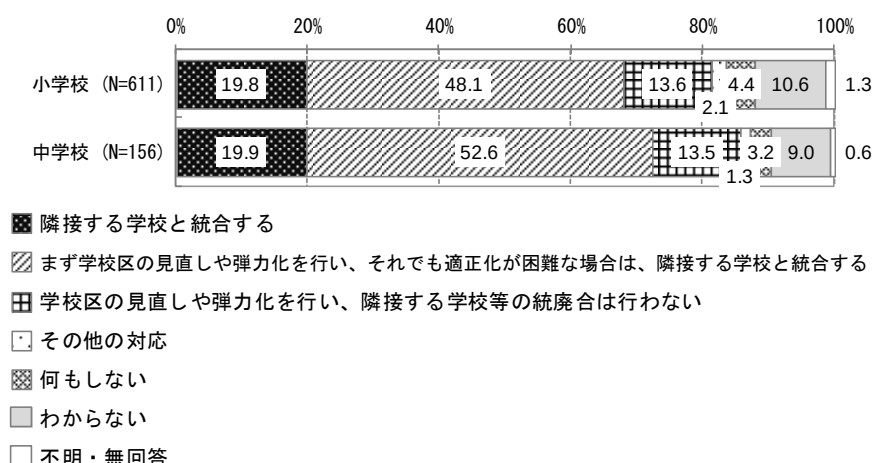


図 11 児童数(生徒数)・学級数を適正化するための対応【小規模校】

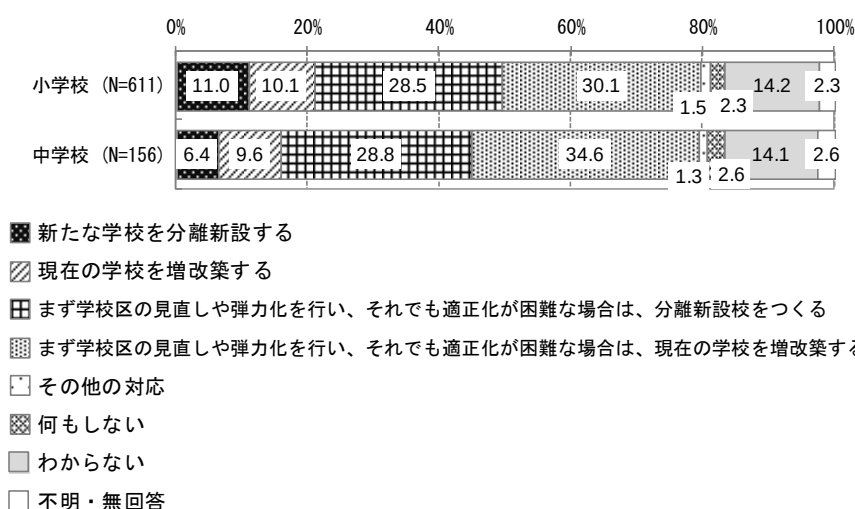


図 12 児童数(生徒数)・学級数を適正化するための対応【大規模校】

（小学校）

（平成 27 年度）

◆◆子どもたちのより良い教育環境について考えるアンケート◆◆

ご協力のお願い

保護者の皆さまへ

保護者の皆様には、日頃から教育行政に関し、何かとご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

亀岡市においては、少子化の影響で大半の学校で児童・生徒数が減少傾向にあり、その一方で宅地開発などで増加が見込まれている学校もあり、教育上や学校運営上で様々な課題が生じています。この現状に対して、市では平成 26 年度から「亀岡市学校規模適正化検討会議」を立ち上げ、学校規模の適正化についての検討を進めています。これに伴い、平成 26 年度には全小・中学校の保護者の皆様（一部クラスを代表して調査）へアンケート調査を行い、学校の規模の現状と問題等についてご意見を伺いました。

本年度は、新たなアンケート調査を実施し、保護者の皆様に学校規模の適正化方法などに関するご意見をお聞きし、今後の検討の参考とさせていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

※平成 26 年度のアンケート調査結果並びに検討会議での検討内容は、亀岡市ホームページでご確認いただくか、市役所 1 階市民情報コーナーで資料を閲覧いただけます。

ご記入にあたって

- アンケート調査は無記名で統計的な処理を行うため、個人のご意見を特定することはできません。率直なご回答をお願いいたします。
- 亀岡市の学校の現状に関する資料（別紙）をご覧になってから、設問にお答えください。
- お子様が 2 人以上おられる場合は、このアンケートを持ち帰られたお子様の学年を想定してご回答ください。
- ご回答は、各設問とも当てはまる選択肢を 1 つ選んで番号に○をつけてください。
（ ）には具体的にご記入ください。
- 記入後のアンケートは、無記名のまま同封の返信封筒に入れて、**7月6日(月)**までに小学校へ提出いただきますようお願いいたします。



- このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒621-8501 亀岡市安町野々神 8 番地

亀岡市教育委員会教育総務課 TEL：25-5052 FAX：23-3100

■小学校区について

問 1 亀岡市では、一部の地域を除いて、小学校区と自治会の区域が概ね一致しています。このことについてどのようにお考えでしょうか。

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. 小学校区と自治会区域は、一致させるべきである | →副問 1-1 へ |
| 2. 小学校区と自治会区域は、可能であれば一致させる方がよい | →副問 1-1 へ |
| 3. 小学校区と自治会区域は、一致させる必要はない | →副問 1-2 へ |
| 4. わからない | |

副問 1-1 (問 1 で「1」または「2」と答えた方のみ) 一致させる方がよいという理由は何でしょう。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 地域の行事や自治会活動に子どもが参加しやすいから |
| 2. 昔から学校は地域の中心だったので、一致させるべきだと思うから |
| 3. 子どもの見守り活動等を自治会で取り組むため |
| 4. その他(具体的に) |

副問 1-2 (問 1 で「3」と答えた方のみ) 一致させる必要がないという理由は何でしょう。

- | |
|---|
| 1. 地域の行事や自治会活動に関わりがないので、気にならないから |
| 2. 学校区にとらわれずに、自由に地域の行事や自治会活動をしたら良いと思うから |
| 3. 子どもの教育を再優先させて学校区域は決めるべきだから |
| 4. その他(具体的に) |

問 2 亀岡市では、小学校区の設定により、自宅から一番近い小学校へ通学できないケースがあります。このことについてどのようにお考えでしょうか。

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 1. 一番近い学校へ通学できるようにすべきだ | →副問 2-1 へ |
| 2. 一番近い学校へ通学できなくても致し方ない | →副問 2-2 へ |
| 3. わからない | |

副問 2-1 (問 2 で「1」と答えた方のみ) 一番近い学校へ通学させるべきという理由は何でしょう。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 通学距離が長くなると子どもの体力の問題があるから |
| 2. 通学距離が長くなると子どもの安全の問題があるから |
| 3. 子どもの学校と居住地域がばらばらでまとまりがなくなるから |
| 4. その他(具体的に) |

副問 2-2 (問 2 で「2」と答えた方のみ) 一番近い学校への通学でなくても良いという理由は何でしょう。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 多少遠くても安全な通学路を通るほうがよいから |
| 2. 多少遠くても地形などで体が楽な通学路を通るほうが良いから |
| 3. 町内の範囲など地域のつながりが重要だから |
| 4. その他(具体的に) |

問 3 亀岡市では、現在、居住地から通学できる学校は 1 つだけです。通学区域は通学時間・通学距離や地域とのかかわりなどから決定していますが、通学区域の設定についてどのようにお考えでしょうか。

- | |
|--------------------------|
| 1. 現在決められているとおりでよい |
| 2. 隣接する学校も選択できるようにする |
| 3. 市内のすべての学校から選択できるようにする |
| 4. わからない |

■学校規模及び配置の適正化の方法について

問4 学校規模や配置の適正化の代表的な方法として下表のものがあります。これらの方法は亀岡市の小学校にふさわしいと思われますか。①～⑦の方法すべてについて、お答えください。

<学校規模・配置の適正化の方法>

対 象	項 目	概 要
小規模校 大規模校	①特認校制度	・小規模な学校を指定し、通学を希望する児童・生徒を通学区に関係なく、市内どこからでも転入学を認める
	②小中一貫校制度	・小中学校間の連携により、9年間の学習指導や生活指導の連続性を図った教育活動を行う
	③学校統廃合	・適正規模に満たない学校を対象に、近隣の対象学校同士、あるいは対象学校と近隣にある適正規模の学校との統合を行う
	④通学区の見直し	・小規模校や大規模校において、または指定校への通学距離が直近の学校から著しく遠い場合等に通学区の見直しを行う
	⑤通学区の弾力化	・一定条件を満たす場合に、校区外の学校への通学を認める
	⑥学校分離新設	・適正規模を超える学校を複数の学校に分離、新設する
	⑦学校の増改築	・生徒数の増加に伴い、既存の学校施設全体や特別教室等一部施設の増改築を行う

①「特認校制度」は亀岡市の小学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

②「小中一貫校制度」は亀岡市の小学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

③「学校統廃合」は亀岡市の小学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

④「通学区の見直し」は亀岡市の小学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

(小学校)

⑤ 「**通学区域の弾力化**」は亀岡市の小学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

⑥ 「**学校分離新設**」は亀岡市の小学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

⑦ 「**学校の増改築**」は亀岡市の小学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

問5 小規模校及び大規模校の児童数・学級数を適正化するための対応として、あなたのお考えに一番近いものを選んで下さい(1つ)

① 小規模校について

1. 隣接する学校と統合する
2. まず学校区の見直しや弾力化を行い、それでも適正化が困難な場合は、隣接する学校と統合する
3. 学校区の見直しや弾力化を行い、隣接する学校等の統合は行わない
4. その他の対応(具体的に)
5. 何もしない 6. わからない

② 大規模校について

1. 新たな学校を分離新設する
2. 現在の学校を増改築する
3. まず学校区の見直しや弾力化を行い、それでも適正化が困難な場合は、分離新設校をつくる
4. まず学校区の見直しや弾力化を行い、それでも適正化が困難な場合は、現在の学校を増改築する
5. その他の対応(具体的に)
6. 何もしない 7. わからない

問6 亀岡市の学校規模や配置の適正化についてお感じになっていることがございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

（中学校）

（平成 27 年度）

◆◆子どもたちのより良い教育環境について考えるアンケート◆◆

ご協力のお願い

保護者の皆さまへ

保護者の皆様には、日頃から教育行政に関し、何かとご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

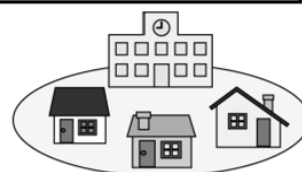
亀岡市においては、少子化の影響で大半の学校で児童・生徒数が減少傾向にあり、その一方で宅地開発などで増加が見込まれている学校もあり、教育上や学校運営上で様々な課題が生じています。この現状に対して、市では平成 26 年度から「亀岡市学校規模適正化検討会議」を立ち上げ、学校規模の適正化についての検討を進めています。これに伴い、平成 26 年度には全小・中学校の保護者の皆様（一部クラスを代表して調査）へアンケート調査を行い、学校の規模の現状と問題等についてご意見を伺いました*。

本年度は、新たなアンケート調査を実施し、保護者の皆様に学校規模の適正化方法などに関するご意見をお聞きし、今後の検討の参考とさせていただきます。お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

※平成 26 年度のアンケート調査結果並びに検討会議での検討内容は、亀岡市ホームページでご確認いただくか、市役所 1 階市民情報コーナーで資料を閲覧いただけます。

ご記入にあたって

- アンケート調査は無記名で統計的な処理を行うため、個人のご意見を特定することはできません。率直なご回答をお願いいたします。
- 亀岡市の学校の現状に関する資料（別紙）をご覧になってから、設問にお答えください。
- お子様が2人以上おられる場合は、このアンケートを持ち帰られたお子様の学年を想定してご回答ください。
- ご回答は、各設問とも当てはまる選択肢を1つ選んで番号に○をつけてください。
（ ）には具体的にご記入ください。
- 記入後のアンケートは、無記名のまま同封の返信封筒に入れて、**7月6日(月)**までに中学校へ提出いただきますようよろしくお願いいたします。



- このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地

亀岡市教育委員会教育総務課 TEL：25-5052 FAX：23-3100

(中学校)

■中学校区について

問1 亀岡市では、中学校区の設定により、自宅から一番近い中学校へ通学できないケースがあります。このことについてどのようにお考えでしょうか。

1. 一番近い学校へ通学できるようにすべきだ →副問 1-1 へ
2. 一番近い学校へ通学できなくても致し方ない →副問 1-2 へ
3. わからない

副問 1-1 (問1で「1」と答えた方のみ) 一番近い学校へ通学させるべきという理由は何でしょう。

1. 通学距離が長くなると子どもの体力の問題があるから
2. 通学距離が長くなると子どもの安全の問題があるから
3. 子どもの学校と居住地域がばらばらでまとまりがなくなるから
4. その他(具体的に)

副問 1-2 (問1で「2」と答えた方のみ) 一番近い学校への通学でなくても良いという理由は何でしょう。

1. 多少遠くても安全な通学路を通るほうがよいから
2. 多少遠くても地形などで体が楽な通学路を通るほうが良いから
3. 町内の範囲など地域のつながりが重要だから
4. その他(具体的に)

問2 亀岡市では、現在、居住地から通学できる学校は1つだけであり、通学区域は通学時間・通学距離や地域とのかかわりなどから決定されます。通学区域の設定についてどのようにお考えでしょうか。

1. 現在決められているとおりでよい
2. 隣接する学校も選択できるようにする
3. 市内のすべての学校から選択できるようにする
4. わからない

■学校規模及び配置の適正化の方法について

問3 学校規模や配置の適正化の代表的な方法として下表のものが 있습니다。これらの方法は亀岡市の中学校にふさわしいと思われますか。①～⑦の方法すべてについて、お答えください。

<学校規模・配置の適正の方法>

対 象	項 目	概 要
小規模校 大規模校	①特認校制度	・小規模な学校を指定し、通学を希望する児童・生徒を通学区に関係なく、市内どこからでも転入学を認める
	②小中一貫校制度	・小中学校間の連携により、9年間の学習指導や生活指導の連続性を図った教育活動を行う
	③学校統廃合	・適正規模に満たない学校を対象に、近隣の対象学校同士、あるいは対象学校と近隣にある適正規模の学校との統合を行う
	④通学区域の見直し	・小規模校や大規模校において、または指定校への通学距離が直近の学校から著しく遠い場合等に通学区域の見直しを行う
	⑤通学区域の弾力化	・一定条件を満たす場合に、校区外の学校への通学を認める
	⑥学校分離新設	・適正規模を超える学校を複数の学校に分離、新設する
	⑦学校の増改築	・生徒数の増加に伴い、既存の学校施設全体や特別教室等一部施設の増改築を行う

(中学校)

① 「特認校制度」は亀岡市の中学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

② 「小中一貫校制度」は亀岡市の中学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

③ 「学校統廃合」は亀岡市の中学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

④ 「通学区域の見直し」は亀岡市の中学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

⑤ 「通学区域の弾力化」は亀岡市の中学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

⑥ 「学校分離新設」は亀岡市の中学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

⑦ 「学校の増改築」は亀岡市の中学校にふさわしいと思いますか。

1. ふさわしい 2. どちらかといえばふさわしい 3. どちらかといえばふさわしくない
4. ふさわしくない 5. わからない

その理由を具体的に

(中学校)

問4 小規模校及び大規模校の生徒数・学級数を適正化するための対応として、あなたのお考えに一番近いものを選んで下さい(1つ)

① 小規模校について

1. 隣接する学校と統合する
2. まず学校区の見直しや弾力化を行い、それでも適正化が困難な場合は、隣接する学校と統合する
3. 学校区の見直しや弾力化を行い、隣接する学校等の統合は行わない
4. その他の対応（具体的に
5. 何もしない
6. わからない

② 大規模校について

1. 新たな学校を分離新設する
2. 現在の学校を増改築する
3. まず学校区の見直しや弾力化を行い、それでも適正化が困難な場合は、分離新設校をつくる
4. まず学校区の見直しや弾力化を行い、それでも適正化が困難な場合は、現在の学校を増改築する
5. その他の対応（具体的に
6. 何もしない
7. わからない

問5 亀岡市の学校規模や配置の適正化についてお感じになっていることがございましたら、ご自由にお書きください。

--

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

